

大丈夫？子どもの防犯対策

近年、犯罪による子どもの被害件数は減少傾向にありますが、連れ去りなど子どもの心身に深刻なダメージを与える種類の犯罪は横ばいの状態が続いています。

子どもの成長を促すため、徐々に親が離れていくのは必要なことですが「自立心を育てるために過保護にならない」ことと「防犯対策を放棄する」ことはイコールではありません。子どもを持つ家庭では、下記を参考にしっかり対策をしましょう。

子どもが巻き込まれる犯罪の傾向

- ・被害発生場所は、道路上が約4割で最多となっています。
- ・被害に遭った子どもの約半数は、犯人に騙されて自分の意思についていっています。
- ・誘拐された子どもの約7割は、一人でいるときに被害に遭っています。
- ・「略取誘拐」「強制わいせつ」は、未就学児や中学生より小学生が狙われやすい傾向にあります。

犯罪に遭わないために！

1. 持ち物に名前を書くときは他人から見えない場所に書く

「知らない人についていってはいけない」と分かっているにもかかわらず、自分の名前呼び掛けられることにより警戒心が薄れてしまう場合があります。そのようなリスクを減らすために、持ち物に名前を書く場合は裏側に書くなど、名前を知られない工夫をしましょう。また、玄関先に置かれた傘から名前を知られてしまった事例もありますので、家の周りに名前を知る手がかりとなるような物を置かないように注意しましょう。

2. 防犯ブザー「3つの約束」を教える

防犯ブザーを持つとき、使うときの約束

- ①すぐに鳴らせる場所につけておく
- ②遊びでは絶対に鳴らさない
- ③鳴らしたらすぐ逃げる　を守るように教えましょう。



また、緊急時に適切に使えるよう、定期的に使い方の練習をしておきましょう。

3. 町に潜む危険な場所を親子で確認し、話し合う

人があまり通らない道など、周りから見えにくく誰でも入れる場所は危険と言えます。このような場所を歩きながら確認し、どういうことに注意すれば良いかなどを事前に話し合しましょう。

「いかのおすし」を覚えよう！

「いかのおすし」は、子どもたちが犯罪被害に巻き込まれないための防犯標語です。親子で覚えて、実践しましょう。

- 「いか」 知らない人についていかない。
- 「の」 知らない人の車には絶対にのらない。
- 「お」 おおごえを出して助けを呼ぶ。
- 「す」 安全なところまですぐ逃げる。
- 「し」 すぐにおうちの人にしらせる。



不審者や不審車両を見かけたら警察署・最寄りの駐在または役場総務課までご連絡を！

苫小牧警察署 ☎ 0144 ㊟ 0110　追分駐在所 ☎ ㊟ 2003

安平駐在所 ☎ ㊟ 2339　早来駐在所 ☎ ㊟ 2030

遠浅駐在所 ☎ ㊟ 2211　役場総務課 ☎ ㊟ 2511